

未来は私たちの手で。

ジャーナリスト 「ルポ・貧困大国アメリカ」 著者

# 堤 未果 講演会

「3.11 後の日本がかかえるもの」

*Where is the FACT?*

9.11 以降のアメリカと、3.11 後の日本。

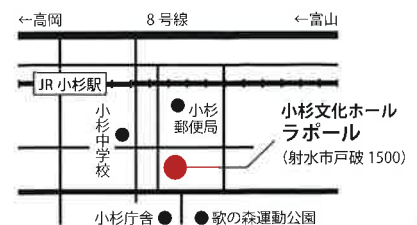
2つを結ぶ点と線から、この国のゆくえを考える。

2013 5.19 (日)

アイザック小杉文化ホール ラポール

ひびきホール [13:00 開場 13:30 開演]

参加費：一般 1,000 円 / 中学生以下無料



## 未来は私たちの手で。

東日本大震災から2年の月日が流れました。しかし、いまだに被災地での課題が山積され、この国のゆくえや進むべき方向性は明るい未来を照らしているとは言い難い状況下にあります。地震や津波、そして原発事故がもたらした甚大な影響は被災者に深い爪痕を残し、今まで信じてきたすべての価値観をも奪い去りました。どこで日本人は道を見誤ったのかという問いが、私たちひとりひとりに突き付けられているのです。

どうすれば私たちは3.11後の日本を包む閉塞感から脱却し、新しい価値観を見出すことができるのでしょうか？国民の約7割が原発からのエネルギー政策の転換を望んでいるにもかかわらず、なぜ実現には程遠いのでしょうか？その実態がよくわからないまま進められているTPPの本質とはいったい何なのでしょう？そして、なぜ分断が生まれるのでしょうか？

9.11後のアメリカを検証し見えてくる3.11後の日本に潜む「FACT」。そのうすぼんやりとした点は線となり、日本の近未来を鏡のように映しだすはずです。

「未来は私たちの手で」

堤未果さんの講演をとおして、一緒に考えてみませんか？

### Program

13:30 ~ 15:10 講演

15:10 ~ 16:00 トークセッション (質疑応答)



### 堤 未果さんのプロフィール

ジャーナリスト

東京都生まれ。和光小、中、高卒業後、アメリカに留学。

ニューヨーク州立大学国際関係論学科卒、ニューヨーク市立大学大学院国際関係論学科修士課程修了。

国連婦人開発基金 (UNIFEM)、アムネスティ・インターナショナル NY 支局員を経て、米国野村證券に勤務中に 9.11 同時多発テロに遭遇。以後ジャーナリストとして各種メディアで発言、執筆・講演活動続ける。

『報道が教えてくれないアメリカ弱者革命～なぜあの国にまだ希望があるのか』(海鳴社) (2006 年日本ジャーナリスト会議黒田清新人賞受賞)、『ルポ・貧困大国アメリカ』(岩波新書) (2008 年日本エッセイストクラブ賞受賞、新書大賞 2009 受賞)

『アメリカ弱者革命』(新潮文庫)、『もうひとつの核なき世界』(小学館)、『社会の真実の見つけかた』(岩波ジュニア新書)、『政府は必ず嘘をつくーアメリカの『失われた十年』が私たちに警告すること』(角川SSC新書)、『堤未果と考える 人はなぜ、同じ過ちを繰り返すのか?』(清流出版)など書著多数。

北海道新聞「各自核論」、日本農業新聞、週刊現「ジャーナリストの目」に連載中。